



BLUE BOTTLE
COFFEE

vol.07
June 2, 2015

タルティーン・ベーカリー 国内展開を延期

「ログロード代官山」への出店を見合わせ

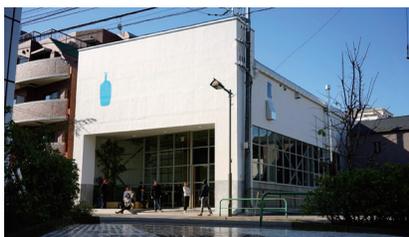
ブルーボトルコーヒージャパン合同会社（本社：東京都江東区、代表：ジェームス・フリーマン、以下「当社」）は、今春を予定しておりましたタルティーン ベーカリー&カフェ及びブルーボトルコーヒーの「ログロード代官山」への出店を見合わせると同時に、タルティーン ベーカリー&カフェの国内展開を延期することをお知らせいたします。

これまで当社は、本国でのタルティーン・ベーカリー買収発表後、タルティーン ベーカリー&カフェの日本上陸実現に向けて準備を進めてまいりました。この過程で、お客さまにご満足いただける理想の店舗についての議論を重ねた結果、国内1号店となる店舗での提供内容を見直すに至り、結果として国内展開の方針を再検討すべきであるとの結論に達しました。

今後、改めて国内での出店場所の検討をいたしますので、タルティーン ベーカリー&カフェの新店、並びにブルーボトルコーヒーの次店舗の出店時期は未定となりました。詳細につきましては、決まり次第ご案内させていただきます。

当社は、今回日本初上陸となるタルティーン ベーカリー&カフェの展開に向けて、引き続き検討を進めてまいります。今後とも何卒ご支援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

Who we are ブルーボトルコーヒーとは



ブルーボトルコーヒーは、2002年にジェームス・フリーマンによって創設され、現在はサンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ロサンゼルス、ロサンゼルス、ロサンゼルスの4都市圏で20店舗を展開しています（2015年6月1日現在）。ブルーボトルコーヒーは「おいしさ」を徹底して追求しています。コーヒー生豆は厳しく選別され、カフェで販売する豆は、焙煎してから48時間以内の豆のみを店頭に並べます。カフェオープンにあたっては、まずロースタリーを設け、焙煎したてのコーヒーが配送可能な範囲にのみカフェをつくることで、お客様に新鮮なコーヒーを提供することを実現

します。ジェームス・フリーマンが触発されてきた、日本の洗練された喫茶文化やおもてなしの文化と、シリコンバレーで知られるベイエリアならではの、自由で開放的なカルチャーの両方がブルーボトルコーヒーの発展に寄与してきたことも、欠かせない歴史のひとつです。新鮮でおいしいコーヒーや、ホスピタリティ、サステナビリティ（持続可能性）に配慮したビジネスが投資家の注目と賛同を集め、2012年10月に19.7百万ドル（約20億円）、2014年1月に24百万ドル（約25億円）の資金を調達し、急成長を続けています。

問い合わせ先 Blue Bottle Coffee Japan合同会社 広報担当：井川 沙紀 japan_press@bluebottlecoffee.com（日本語・英語可）